

勉誠社

訓点語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: **ba54c63b50**

(使用期限: ~2025年6月30日)

謹啓

日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、既刊から在庫僅少タイトル(勉誠出版発行含む)まで、全品が対象です。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: **ba54c63b50** (使用期限: ~2025年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。

ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- ・送料

6,000 円 (税込) 未満の購入 → 送料 600 円

6,000 円 (税込) 以上の購入 → 送料無料

(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
訓点語学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



【勉誠社】研究書 近刊・新刊書籍リスト

2024～2025年刊行分

割引価格は、学会大会会場等での現金販売時の価格です（定価の2割引額の十の位を四捨五入した金額）。
公費支払い等の後払い、弊社ウェブサイトでのご注文の場合は、定価の2割引での販売となります。ご了承くださいませようお願い

	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格	注文数
■事典・総記■							
	書物学 第27巻 近代製本の100年—明治・大正・昭和	編集部 編	2025/04	30727-3	2,200	1,800	
	書物学 第26巻 古筆見の仕事—真偽の先にあるもの	編集部 編	2025/02	30726-6	2,200	1,800	
	書物学 第25巻 古典籍の文献学—鶴見大学図書館の蒐書を巡る	編集部 編	2024/04	30725-9	2,200	1,800	
	世界の絵本・作家 総覧	O.L.V.（おおぶ文化交流の杜図書館ボランティアグループ）・おおぶ文化交流の杜図書館 編	2024/06	30013-7	22,000	17,600	
	アーカイブズ学入門	国文学研究資料館 編	2024/07	30012-0	3,080	2,500	
■歴史・文化財・美術史・思想史■							
	増補改訂版 道教美術の可能性	齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明 編	2025/04	37019-2	3,300	2,600	
	宋代士大夫官僚の基層社会と構造	伊原弘 著	2025/04	32049-4	13,200	10,600	
	中国の女性演劇—越劇とジェンダー	中山文 著	2025/03	37018-5	8,250	6,600	
	新装版 武蔵武士を歩く—重忠・直実のふるさと 埼玉の史跡	北条氏研究会 編	2025/03	32062-3	2,970	2,400	
	武蔵武士を巡る—東京・神奈川の史跡と伝説	北条氏研究会 編	2025/03	32055-5	4,180	3,300	
	茶の湯の文化史	五味文彦 著	2025/03	32060-9	2,640	2,100	
	貸本問屋と貸本文化—娯楽的書籍の出版・流通・受容	松永瑠成 著	2025/03	32063-0	11,000	8,800	
	道教文化と日本—陰陽道・神道・修験道	日本道教学会 編	2025/03	31020-4	4,180	3,300	
	江戸庶民の読書と学び 増補改訂版	長友千代治 著	2025/02	32065-4	5,280	4,200	
	古文書研究 第98号	日本古文書学会 編	2025/01	32408-9	4,180	3,300	
	地方史誌から世界を読む—地方史誌から世界を読む	小二田章 編	2025/01	32064-7	8,800	7,000	
	古文書研究 第98号	日本古文書学会 編	2024/12	32408-9	4,180	3,300	
	帝鑑図と帝鑑図説—日本における勸戒画の受容	小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史 編	2024/11	37017-8	16,500	13,200	
	武蔵武士を巡る—東京・神奈川の史跡と伝説	北条氏研究会 編	2024/12	32055-5	4,180	3,300	
	増補改訂版 明恵上人夢記 訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	2024/10	31019-8	8,800	7,000	
	近世日本邪正論—江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ／隠し念仏	大橋幸泰 著	2024/11	32058-6	11,000	8,800	
	看聞日記とその時代—好奇心旺盛な皇族・伏見宮貞成が語る中世社会	蘭部寿樹 著	2024/10	32059-3	4,620	3,700	
	荘園制再編と中世日本	小川弘和 著	2024/10	32057-9	8,800	7,000	
	源氏絵研究の最前線	稲本万里子 編著	2024/10	37016-1	14,300	11,400	
	織田信長文書の世界—永青文庫 珠玉の六〇通	公益財団法人永青文庫・熊本大学 永青文庫研究センター 編	2024/09	32054-8	3,080	2,500	
	増補改訂版 東インド会社とアジアの海賊	東洋文庫・斯波義信・平野健一郎・羽田正 監修／	2024/09	32056-2	3,520	2,800	
	醍醐寺文化財研究所研究紀要 第24号	醍醐寺文化財研究所 編	2024/09	31302-1	2,750	2,200	
	都市鎌倉の展開と鶴岡八幡宮の社人集団	佐藤博信 著	2024/09	32050-0	8,800	7,000	
	日本中世史論集	森茂暁 著	2024/09	32053-1	13,200	10,600	
	料理の日本史	五味文彦 著	2024/09	32045-6	2,640	2,100	
	ハナシ語りの民俗誌	川島秀一 著	2024/08	32006-6	3,520	2,800	
	開かれていた鎖国—入り船と出船	片桐一男 著	2024/08	32046-3	8,800	7,000	
	新装版 日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2024/08	32052-4	18,700	15,000	
	教育勅語—少年昭和天皇への進講録	杉浦重剛 著／所功 解説	2024/07	32051-7	1,320	1,100	
	広益体 妖怪普及史	伊藤慎吾・氷厘亭氷泉・式水 downstream・永島大輝・幕張本郷猛・御田鉄・毛利恵太 著	2024/07	32040-1	3,520	2,800	
	古文書研究 第97号	日本古文書学会 編	2024/06	32407-2	4,180	3,300	
	和紙を科学する 製紙技術・繊維分析・文化財修復	大川昭典 著	2024/06	35002-6	4,620	3,700	
	近世長崎渡来人文運史 言語接触と文化交流の諸相	若木太一 著	2024/06	32044-9	14,300	11,400	
	永平廣録 大全—『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参考ならびに解題・関連資料集成	大谷哲夫 著	2024/06	31017	71,500	57,200	
	増補改訂版 室町時代の将軍家と天皇家	石原比伊呂 著	2024/05	32047-0	9,900	7,900	
	戦後出版文化史のなかのカストリ雑誌	石川巧 編集代表／カストリ雑誌編集委員会 編	2024/05	39039-8	3,080	2,500	
	増補改訂版 図像学入門—疑問符で読む日本美術	山本陽子 著	2024/04	37014-7	2,640	2,100	
	古文書修復講座—歴史資料の継承のために	神奈川大学日本常民文化研究所 監修／関口博巨 編	2024/03	32035-7	4,180	3,300	
	三井大坂両替店の顧客信用情報—享保一七年から明治二年まで	萬代悠 編	2024/03	32042-5	16,500	13,200	
	「見える」ものや「見えない」ものをあらす—東アジアの思想・文物・藝術	外村中・稲本泰生 編	2024/03	37012-3	15,400	12,300	
	湖北省留日学生と明治日本	王鼎 著	2024/03	32043-2	7,700	6,200	
	器と信仰—東アジアの舍利荘嚴をめぐる美術史・考古学からのアプ	加島勝 編	2024/03	32041-8	16,500	13,200	
	彰義隊士の手紙—続『新彰義隊戦史』	大藏八郎 著	2024/03	32036-4	22,000	17,600	
	日本近世史入門—ようこそ研究の世界へ！【重版出来！】	上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美	2024/02	32034-0	4,180	3,300	
	コレクションと歴史意識—十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし	古畑侑亮 著	2024/02	32038-8	11,000	8,800	

	近世後期の海防と社会変容	清水詩織 著	2024/02	32037-1	11,000	8,800	
	朝鮮時代ソウル都市史	高東煥 著／野崎充彦・金子祐樹 訳	2024/02	32039-5	9,900	7,900	
	泰山諸神の信仰の展開―東岳大帝から碧霞元君へ	二ノ宮聡 著	2024/01	31018-1	8,800	7,000	
■ 古典文学・文学史 ■							
	杜甫研究年報 第八号	日本杜甫学会 編	2025/04	39448-8	2,200	1,800	
	〈絵語り〉の日本中世	井上泰 著	2025/03	37013-0	9,900	7,900	
	和漢韻文文学の諸相	村上哲見 著／浅見洋二・松尾肇子 編	2025/03	39049-7	13,200	10,600	
	本歌取り表現論考	小山順子 著	2025/03	39050-3	12,100	9,700	
	水門 第三十二号	水門の会 編	2025/03	32463-8	3,850	3,100	
	孝謙天皇・称徳天皇御伝	米田達郎・米田雄介 編著	2025/01	32061-6	7,150	5,700	
	日本人の読書 新装版―古代・中世の学問を探索	佐藤道生 著	2025/01	39047-3	11,000	8,800	
	新装版 数と易の中国思想史―術数学とは何か	川原秀城 著	2024/12	81045-2	7,700	6,200	
	正訳 源氏物語 本文対照 第一冊（オンデマンド版） 桐壺／帚木／空蟬／夕顔／若紫	中野幸一 訳	2024/12	89571-8	2,750	2,200	
	増補改訂版 明恵上人夢記 訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	2024/11	31019-8	8,800	7,000	
	清少納言伝―中宮定子讃仰と鎮魂の生涯	上原作和 著	2024/11	39046-6	5,940	4,800	
	鎌倉幕府の文学論は成立可能か!?!―真名本『曾我物語』テキスト論	神田龍身 著	2024/10	39045-9	4,180	3,300	
	日本人にとって教養とはなにか―〈和〉〈漢〉〈洋〉の文化史	鈴木健一 著	2024/10	39044-2	3,850	3,100	
	日本古典文学と中国の古伝承―物語形成の比較文学的考察	三木雅博 著	2024/09	39042-8	11,000	8,800	
	平安朝詩文論集	後藤昭雄 著	2024/09	39043-5	13,200	10,600	
	戦後出版文化史のなかのkastori雑誌	石川巧 編集代表／kastori雑誌編集委員会 編	2024/06	39039-8	3,080	2,500	
	新装版 正訳 紫式部日記 本文対照	中野幸一 訳	2024/05	39041-1	2,420	1,900	
	ラテンアメリカ文学の出版文化史―作家・出版社・文芸雑誌と国際的文学ネットワークの形成	寺尾隆吉 編著	2024/05	39040-4	6,050	4,800	
	中国古典戯曲演劇論	岡晴夫 著	2024/04	37015-4	16,500	13,200	
	球陽外巻 遺老説伝	前村佳幸 校注	2024/04	32048-7	8,800	7,000	
	杜甫研究年報 第七号	日本杜甫学会 編	2024/04	39447-1	2,200	1,800	
	水門 第三十一号	水門の会 編	2024/03	32462-1	3,850	3,100	
	川端康成の曖昧な声―日本語の小説における文体と身体の交点	平井裕香 著	2024/03	39038-1	6,600	5,300	
	本 かたちと文化―古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	30011-3	3,080	2,500	
	本 かたちと文化（電子版）―古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	70011-1	3,080	2,500	
	歴史叙述としての平家物語	塩山貴奈 著	2024/02	39037-4	8,800	7,000	
■ 日本語学・言語学 ■							
	日本人は漢文をどう読んだか―直読から訓読へ	湯沢質幸 著	2024/05	38006-1	3,520	2,800	
	論究日本近代語 第3集	日本近代語研究会 編	2024/04	38523-3	16,500	13,200	
	楷書の秘密―「字様」が発見されるまで	西原一幸 著	2024/02	38005-4	4,180	3,300	
■ 〈アジア遊学〉 ■							
	302 アク・ベシム遺跡を掘る―よみがえるシルクロードの交易都市	山内和也・齊藤茂雄 編	45748	32548-2	3,520	2,800	
	301 描かれた法華経―本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空	原口志津子 編	2025/03	32547-5	3,300	2,600	
	300 性なる仏教	大谷由香 編	2025/01	32546-8	3,080	2,500	
	299 近代日本の中国学―その光と影	朱琳・渡辺健哉 編著	2024/12	32545-1	3,850	3,100	
	298 無住道暁の拓く鎌倉時代―中世兼学僧の思想と空間	土屋有里子 編	2024/10	32544-4	3,080	2,500	
	297 廃墟の文化史	木下華子・山本聡美・渡邊裕美子 編	2024/10	32543-7	3,300	2,600	
	296 天文文化学の視点―星を軸に文化を語る	松浦清・真貝寿明 編	2024/10	32542-0	3,850	3,100	
	295 蘇州版画―東アジア印刷芸術の革新と東西交流	青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光 編	2024/09	32541-3	3,520	2,800	
	294 秀吉の天下統一―奥羽再仕置	江田郁夫 編	2024/06	32540-6	3,520	2,800	
	293 彷徨する宗教性と国民諸文化―近代化する日独社会における神話・宗教の諸相	前田良三 編	2024/02	32539-0	3,300	2,600	
■ 図書館学・アーカイブ ■							
近刊	学校図書館概論	金沢みどり・雪嶋宏一 監修／雪嶋宏一・須	30402-9	30402-9	2,750	2,200	
	デジタルデータの長期保存・活用―その理論と実践	嘉村哲郎 責任編集	2025/03	30305-3	4,620	3,700	
	デジタル時代のコレクション論（デジタルアーカイブ・ベーシック	中村寛・逢坂裕紀子 責任編集	2024/10	30304-6	3,850	3,100	
	図書館員をめざす人へ 増補改訂版	後藤敏行 著	2024/10	30014-4	2,640	2,100	

高山寺本

こうさんじほん
みょうえしようにん
ゆめのき やくちゅう

明恵上人 夢記訳注

奥田 勲
平野 多恵
前川 健一
立木 宏哉
小宮 俊海
野呂 靖

編

中世日本の思想や文化に大きな影響を与えた明恵上人。

その明恵が自らの見た夢を詳細に書き記した「夢記（ゆめのき）」は、

明恵その人の思想や心性を示すのみならず、

日本人と夢や精神世界との関係を解き明かすための重要な基礎資料である。

明恵が開いた梅尾・高山寺に伝わる明恵上人夢記の全編に

翻刻・訓読・現代語訳・語注・考察を付した決定版。

既刊の『増補改訂版 明恵上人夢記訳注』と併せ、

明恵による「夢記」の全体像を把握する画期的成果。

本書の特長

- 高山寺に所蔵される明恵上人夢記の影印（第十編・手鏡）・解題・目録及び夢記一点ごとの翻刻・訓読・現代語訳・考察を収載した、明恵上人夢記研究における画期的な基礎文献である。
- 夢・思想・宗教・歴史などの分析・検討に広く有用な資料を提供し、文学・思想・宗教・歴史・心理学・精神医学・日本語学・古筆学・美術等、さまざまな研究分野に裨益する必携の一書。
- 「I 影印」ではこれまで全編未紹介であった第十編・手鏡を影印掲載した。
- 「II 解題」では、「明恵上人夢記」の全体像と研究史を概観。また、高山寺蔵の夢記について、詳細な解説を加えた。
- 「III 訳注」では、上記目録掲載の各夢記について、【翻刻】【訓読】【現代語訳】【語注】【考察】を掲載した。
- 「IV 資料」には、【華嚴仏光三昧観冥感伝訓読】【夢記年表】【固有名词解説】【夢記関連地図】【参考文献一覧】【人名一覧】【事項索引】を取り、研究のツールとして有用なものを収載した。

明恵上人とは…

一一七三（一二三二）鎌倉時代の華嚴宗の僧。三十四歳に後鳥羽上皇の院宣により、梅尾を賜り、ここに高山寺が開創される。著書に、『摧邪論』など多数。

目次

【口絵】
（毘盧遮那の夢／手鏡）

緒言：奥田勲
凡例

I 影印
（第十編・手鏡）

II 解題
明恵「夢記」概観
高山寺本解題

III 訳注

凡例
高山寺本（訳注）
聖教等の夢記（目録・訳注）

IV 資料

華嚴仏光三昧観冥感伝訓読
夢記年表
固有名词解説
夢記関連地図
参考文献一覧
人名一覧
事項索引

あとがき
謝辞
編著者・執筆者紹介

おくだ いさお：聖心女子大学名誉教授。
ひらの たえ：成蹊大学文学部准教授。
まえがわ けんいち：公益財団法人東洋哲学研究所研究員。
たちき ひろや：聖心女子大学ほか非常勤講師。
こみや しゅんかい：正大学非常勤講師／智山伝法院非常勤講師。
のろ せい：龍谷大学心理学部准教授。

定価 8,800 円（本体価格 8,000 円）

A5判上製カバー装580頁（カラー口絵2頁）
2025年8月刊行予定
ISBN978-4-585-31022-8 C3015

書名	冊数
高山寺本 明恵上人夢記訳注 奥田 勲・平野多恵・前川健一・小宮俊海・立木宏哉・野呂 靖 [編]	定価 8,800 円（本体価格 8,000 円） A5判上製カバー装・580頁（カラー口絵2頁） 2025年8月刊行予定 ISBN978-4-585-31022-8 C3015
ご送付先ご住所（通信欄）	

森公章 [著]

木簡が語る

古代の日本

(仮)

地方木簡の世界

木簡の出土遺跡は列島の津々浦々に及び、既存の文献史料では説明が難しい地域の様相を探究する手がかりとなる。

地方官衙遺跡出土木簡(地方木簡)を仔細に読み解き、8・9世紀を中心に、国郡制支配の基層となる郡・郡司の動向や「郡的世界」と称すべき在地社会の状況、その上位にある国府や国分寺、国家的な生産施設のあり方など、律令制下の地域の姿を探る。また「郡的世界」から国衙の支配へと展開する10・11世紀の様相も明らかにする。

木簡の基礎知識や地方木簡を用いた古代史研究の方法論をわかりやすく解説し、具体的な木簡の釈読と文献史料から地方支配の様相の展開を立体的に描く、画期的入門書。

著者プロフィール

(もり・さみゆき) 東洋大学文学部教授。

専門は日本古代史、特に地方支配の歴史の変遷、東アジアの国際関係、木簡学などを中心に研究している。主な著書に『地方木簡と郡家の機構』(同成社、二〇〇九年、『地方豪族の世界』—古代日本をつくった三〇人—(筑摩書房、二〇一三年)、『平安時代の国衙機構と地方政治』(吉川弘文館、二〇一四年)、『渡海僧がみた宋代中国』—参天台五臺山記を読む—(八木書店、二〇一五年) などがある。

目次

プロローグ——地方官衙遺跡出土木簡の概要——

木簡とは何か／木簡の出土状況／出土遺跡と点数の概要／木簡の年代／世界の木簡事情／発掘と整理・保存／本書の構成

一 七世紀史と木簡

1 評の成立と支配構造◎評制の「発見」と課題／評制の成立過程と官制／評と五十戸／評と郡の相違／七世紀木簡の出土例／評務の遂行◎2 筑前国嶋郡戸籍の世界◎現存する最古の戸籍／元岡・桑原遺跡群出土の木簡／郡司の戸の様子／大宝二年戸籍をめぐる問題／国分松本遺跡出土木簡から考える

二 「郡的世界」の実像

1 郡務と木簡——兵庫県豊岡市出石町袴狭遺跡群出土の木簡——◎遺跡の概要と木簡の留意点／狭義の文書木簡／記録簡と郡務の諸相／その他の郡務◎2 郡家出先機関の諸相(一)——陸奥国磐城郡の場合——◎里(郷)の位置づけ／郡家出先機関とは／陸奥国磐城郡の場合／大領と農業経営／文書行政の執行／大猿田遺跡出土の木簡◎3 郡家出先機関の諸相(2)——加賀国加賀郡の場合——◎加賀郡の様相／畝田・寺中遺跡出土の木簡／田領横江臣と畝田村／加茂遺跡と勝示札木簡の出土／田領丈部氏と深見村◎4 地域支配と木簡◎青木遺跡の概要／I区出土の木簡／IV区出土の木簡／春時祭田の世界

三 国レベルの機関と木簡

1 但馬国府跡関連遺跡出土の木簡◎但馬国府跡関連の遺跡／題籤軸と紙の文書／郡務と国務の連関◎2 観音寺遺跡と国府木簡の様相◎観音寺遺跡出土の木簡／国務関係の文書／阿波国の支配構造と国務の遂行／荷札木簡の到来・製作と国府◎3 国分寺と木簡◎国分寺の建立／但馬国分寺跡出土の木簡／安芸国分寺跡出土の木簡◎4 生産遺跡と木簡◎長登銅山跡と木簡の出土／文書木簡の検討／荷札木簡と物資の到来／銅付札の諸相／大仏造立の様相

四 国衙の支配への展開

1 農業経営と木簡◎畿内有力者の多角経営／労働力編成の諸相／出挙と農事◎2 「郡的世界」から国衙の支配へ◎地方官衙遺跡と木簡の行方／青谷横木遺跡の概要／十・十一世紀の木簡／徴税と勸農／国衙の出納所・収納所と木簡／中世的国衙機構への展望

エビローグ——木簡の研究手法と鍛錬——

研究ツールの広がり／「目から赤外線が出る」とは
参考文献
あとがき

定価(予価)三、〇八〇円

本体一、八〇〇円

A5判並製カバー装

二三四頁前後+カラー口絵四頁

二〇一五年七月刊行予定

ISBN978-4-585-32066-1 C1021

書名

木簡が語る古代の日本

地方木簡の世界

森公章(著)

部数

定価(予価)3,080円(本体価格2,800円)

A5判・並製カバー装・224頁前後+カラー口絵4頁

2025年7月刊行予定

ISBN978-4-585-32066-1 C1021

部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠社

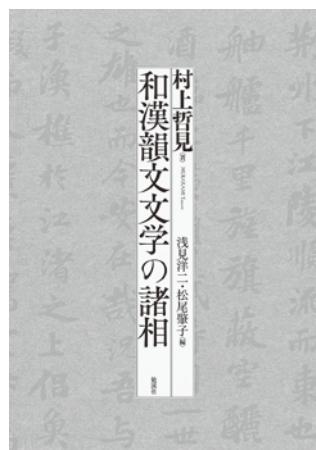
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

村上哲見〈著〉

（むらかみ・てつみ）一九三〇年、中国大連に生まれる。奈良女子大学教授、東北大学教授などを歴任。東北大学名誉教授。文学博士（京都大学）。日本学士院賞・恩賜賞受賞、瑞宝中綬章受章。主な著書に『宋詞研究 唐五代北宋篇』（創文社、一九七六年）『宋詞研究 南宋篇』（創文社、二〇〇六年）『中国文人論（汲古書院一九九四年）』など、二〇二二年三月逝去。

和漢韻文文学の諸相



定価 13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・384頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-39049-7 C3090

浅見洋二・松尾肇子〈編〉

（あさみ・ようじ）大阪大学大学院人文科学研究科教授。文学博士（京都大学）。著書に『中国宋代文学の圏域——草稿と言論統制』（研文出版、二〇一九年）、『陸游（新釈漢文大系詩人編12）』（明治書院、二〇二二年）など。
（まつお・はつこ）立命館大学白川静記念東洋文学文化研究所客員研究員。文学博士（奈良女子大学）。著書に『詞論の成立と発展』（東方書店、二〇〇八年）、『雅詞的受容』（萬巻樓、二〇一三年）など。

唐宋期を中心とする中国文学およびその影響下で生み出された日本漢文学について、多くの注目すべき研究成果を発表してきた村上哲見。これまで単行本未収録であった二十二編の論考を、
「中国詞論」「中国文人論」「日本漢詩論」に分類して収載。
幅広い知見と深い読解と考察により
研究を領導してきた泰斗による珠玉の論文集。

まえがき……浅見洋二

第一部 中国詞論

- 1 中国韻文史序論簡説
- 2 中国の韻文文学諸様式の相互関係について
- 3 花間詞の声律
- 4 燭背・灯背ということ——読詞瑣記
- 5 李煜の詞におもいうこと
- 6 南宋の文人たち——姜白石をめぐって
- 7 思惟の人と行動の人——朱子と辛稼軒の交遊
- 8 『詞律』の著者、万樹について
- 9 毛沢東主席の詞

第二部 中国文人論

- 10 白居易と杭州・蘇州
- 11 白居易の杭州赴任をめぐって
- 12 東坡詩札記——「鄭州西門」について
- 13 詩にみる蘇東坡の書論
- 14 蘇東坡と陸放翁
- 15 皇帝と文房趣味

第三部 日本漢詩論

- 16 『懷風藻』の韻文論的考察
 - 17 『三体詩』の抄物
 - 18 許六『和訓三体詩』をめぐって
 - 19 『唐詩選』と嵩山房——江戸時代漢籍出版の一側面
 - 20 江戸時代の漢籍出版
 - 21 江戸時代出版雑誌
 - 22 漢詩の魅力——夏目漱石と漢詩
- 【座談会】
先学を語る——村上哲見先生
三浦國雄・川合康三・松尾肇子
浅見洋二・萩原正樹・興膳宏
略歴／著作目録
あとがき……松尾肇子

書名

和漢韻文文学の諸相

村上哲見〈著〉浅見洋二・松尾肇子〈編〉

定価 13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・384頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-39049-7 C3090

冊数

冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

米田達郎・米田雄介 [編]

孝謙天皇・称徳天皇御伝

こうけんてんのう・しょうとくてんのうぎよでん

聖武天皇と光明皇后を両親とし、史上6人目の女性天皇であった孝謙天皇(重祚して称徳天皇)。その治世下は必ずしも安定していたとは言えず、宇佐八幡宮事件、道鏡との関係などで取りざたされることが多いが、その一方で仏教に対する信仰が篤かったこと、男性のみならず女性も登用する人事を行ったことなど、特筆すべき事績が数多く残されている。『続日本紀』に記載されている記事を中心に、『扶桑略記』『諸寺略記』『東大寺要録』『寧楽遺文』『万葉集』など諸種の資料も博搜し、原文と書き下し文を付して編年体にて収録。研究の基盤を提供する。

[目次]

口絵

はじめに

凡・例

孝謙天皇御伝(在位…天平勝宝元年七月二日〜天平宝字二年八月一日)

称徳天皇御伝(在位…天平宝字八年十月九日〜神護景雲四年八月四日)

孝謙天皇・称徳天皇略年譜

おわりに

[編者プロフィール]

米田達郎(よねだ・たつろう)

大阪工業大学工学部教授。専門は日本語学。主な著書・論文に、『鸛流狂言詞章保教本を中心とした狂言詞章の日本語学的研究』(武蔵野書院、二〇一〇年)、『『遊星』から『惑星』へ——明治時代以降を中心に』(『近代語研究』第29集、武蔵野書院、二〇二三年)、『天文用語「自転」の語史——江戸時代末・明治時代を中心に』(『国語と国文学』6月号、二〇二四年)、『「軌道」の語史——江戸時代末以降を中心に』(松浦清・真貝寿明編『天文文化の視点——星を軸に文化を語る』アジアド学、勉誠社、二〇二四年)などがある。

米田雄介(よねだ・ゆうすけ)

宮内庁書陵部編修課長・正倉院事務所長を歴任。公益財団法人古代学協会理事(文学博士)、県立広島女子大学・神戸女子大学名誉教授。専門は日本古代史。二〇二四年没。主な著書に、『すぐわかる正倉院の美術』(東京美術、二〇〇二年)、『奇蹟の正倉院宝物——シルクロードの終着駅』(角川選書、二〇一〇年)、『光明皇后御傳——改訂増補版』(吉川弘文館、二〇二〇年)などがある。

定価 7,150 円
(本体 6,500 円)A5判並製カバー装・290頁
ISBN 978-4-585-32061-6 C3021
2025年1月刊行

書名	部数
孝謙天皇・称徳天皇御伝	定価7,150円(本体6,500円) A5判並製カバー装・290頁 ISBN 978-4-585-32061-6 C3021 2025年1月刊行
米田達郎・米田雄介 [編]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

国宝「三十帖冊子」

さんじゅうじょう
さうし

修理から見えてきたもの

最新の仏教学を学ぶために唐に渡った弘法大師空海が、当地の仏教經典・儀軌類を書写し、日本に隨身秘藏してきた冊子本、国宝「三十帖冊子」。第六世守覚法親王の時代より京都・仁和寺にて尊ばれ、伝持されてきた同書は、空海の入唐中の学問のありかたを伝える密教将来の至宝として、また、空海や橘逸勢ほか、多くの唐の写経生がその書写に関わり、かつ冊子のかたちとして最も古い装訂とされる粘葉装（ちゅうようそう）の日本最古の例として、文化財としても特筆すべき意義を有している。

国宝「三十帖冊子」は、どのように守られ、伝えられてきたのか。

六か年の歳月をかけて行われた修理の全容と、それによって見えてきた新知見を多くのカラー図版とともに紹介。さらには、「三十帖冊子」の伝来と流転、奈良朝經典訓読や漢籍訓読の諸問題、空海の学問と書、

高解像度デジタル顕微鏡による料紙分析と写本学とのコラボレーション、文化財修理のこれまでとこれから等、多角的な観点から「三十帖冊子」を把握する決定版。

掲載図版点数三〇〇点超！

刊行にあたって 総本山仁和寺門跡真言宗御室派管長 瀬川大秀
序言——本書の概要 宇都宮啓吾

第一部 修理・書誌篇

国宝「三十帖冊子」修理報告——修理の概要と調査報告・株式会社松鶴堂
「三十帖冊子」の修理を振り返って・株式会社松鶴堂（書跡担当課 森川洋子）
「三十帖冊子」の料紙に残された痕跡の伝えるもの
——保存修理の視点から 鈴木裕

装訂や料紙から見た国宝「三十帖冊子」 赤尾栄慶
コラム 空海の書——唐からの贈り物 銅島稲子
「三十帖冊子」を飾る染織品 山川曉
料紙を観る——写本学と光学的調査からのアプローチ
石塚晴通・赤尾栄慶・江南和幸・岡田至弘
コラム 文化財情報プラットフォーム
——金剛寺蔵「梵漢普賢行願讃」をめぐる 宇都宮啓吾

第二部 典籍篇

「三十帖冊子」の借覧と返納をめぐる 武内孝善
「三十帖冊子」の仁和寺移動と仁和寺伝持の歴史 朝川美幸
空海将来経論の書写をめぐる
——「三十帖冊子」に関連して 苦米地誠一

仁和寺蔵「三十帖冊子」の訓点から
観た漢籍訓読の一問題 宇都宮啓吾
典籍保存修理の歩み——昭和から令和へ 鈴木裕

定価 二二、二〇〇円（税込）

本体 二二、〇〇〇円（+税）

二〇二三年二月刊行

A5判上製カバー装・三三六頁（カラー一六〇頁）

ISBN978-4-585-31012-9 C3015



総本山仁和寺 監修 宇都宮啓吾 編

（うつのみや・けいご）1966年生まれ。大阪大谷大学文学部教授。専門は日本語学、仏教典籍学。著書に『四天王寺聖教の世界』（四天王寺宝物館令和三年秋季特別展図録）（監修・執筆、四天王寺勧学部、二〇二二年）などがある。

書名		冊数
国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの 総本山仁和寺＝監修 宇都宮啓吾＝編		
定価 13,200円（税込） 本体12,000円（+税） A5判上製カバー装・336頁（カラー160頁） 2023年11月刊行 ISBN978-4-585-31012-9 C3015		冊
ご送付先ご住所（通信欄）		

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

出版準備中であ！

明恵上人夢記訳注 高山寺本篇

増補改訂版

みよえしようにん・ゆめのき・やくちゆう

明恵上人夢記訳注

奥田 勲
平野多恵
前川健一

編

おくだ・いさお…聖心女子大学名誉教授
ひらの・たえ…成蹊大学文学部准教授
まえがわ・けんいち…東洋哲学研究所研究員

定価8,800円(本体価格8,000円)

A5判上製カバー装・580頁(口絵2頁)
2024年10月刊行
ISBN978-4-585-31019-8 C3015

八〇〇年前の夢の記録

鎌倉仏教に異彩を放つ僧・明恵の精神世界を探る基礎資料。
中世の歴史・信仰・美術・言語、
ひいては広く日本文化を説明するための画期的成果。
2015年に刊行後、早々に品切となった同書を増補改訂。
新出の夢記3点を含む増補改訂を施した決定版！

本書の特長

- これまで全編未紹介であったものを含め、研究上重要である一〇点の夢記を影印掲載した。
- 「明恵上人夢記」の全体像と研究史を概観。高山寺蔵本および、重要な諸本について詳細な解説を加えた。
- 本書収録の計七四点についての書誌・内容などの基本情報を一覧できる目録を収録。
- 「訳注」項では、各夢記について、「翻刻」「訓読」「現代語訳」「語釈」「考察」を掲載した。
- 「翻刻」は、夢記の現物調査によって、原態を生かす方法で活字化した。正確な本文の提供は、夢記の根本的研究として極めて価値が高い。
- 「訓読」では、原文に適宜句読点や濁点などを付す。日本語学研究の資料としても有用。
- 「現代語訳」では、初の夢記現代語訳を収録。
- 「語釈」は、その夢記の理解に必要な語句を立項して説明を付した。広く中世文化を説明するための多くの新知見が盛り込まれたものである。
- 「考察」においては、その夢の理解、および機縁や背景を明恵自身の文脈から考察した。
- 「資料」項では「夢記年表」「参考文献一覧」「人名一覧」「事項索引」を収めた。
- 「夢記年表」には、夢記年表および、関連資料に含まれる夢記の年表を掲載。
- 「参考文献一覧」は、夢記研究に関する論文や研究書を一覧。
- 「人名一覧」は、夢記に登場する人名を抽出して一覧し、説明を付した。
- 「事項索引」は、各夢記に登場する、神仏名、地名、修法名などを抽出して索引とした。

明恵上人とは…

一一七三―一二三二。鎌倉時代の華嚴宗の僧。三十四歳に後鳥羽上皇の院宣により、母尾を賜り、ここに高山寺が開創される。著書に、『摧邪論』など多数。

【口絵】

建久十年四月十八日夢記(佐藤辰美氏蔵)
建久十年四月十八日夢記紙表
『十六国大阿羅漢因果識見頌』巻頭・巻尾

増補版の刊行にあたって
緒言：奥田勲

I 影印

建永二年、承元三年、建暦元年夢記第四紙・第五紙紙背(京都国立博物館蔵)／建暦三年二月二十九日夢記(法楽寺蔵)／某年正月七日より三十日夢記(個人蔵)／某年某月、二月夢記(陽明文庫蔵)／某年八月夢記(個人蔵)／某年十一月二日夢記(個人蔵)／某年十一月二日夢記紙背(某年十二月十五日夢記(五島美術館蔵)／某年十二月二十九日夢記(石水博物館蔵一号手鑑)／某年三月十八日、去冬比夢記(青井義夫氏蔵)／某年三月五日夢記(和歌山県立博物館蔵)／某年十月十三日夢記(植松明子氏蔵)／夢記(同後夜)(大垣博氏蔵)

II 解題

「明恵上人夢記」について
高山寺本「夢記」と山外本「夢記」／「夢記」をめぐる研究史
山外本「夢記」解説
京都国立博物館蔵本／陽明文庫蔵本／観智院旧蔵本／松浦厚旧蔵本／神田喜一郎旧蔵本／松永耳庵旧蔵本／その他

III 目録

第一部 第四部

IV 訳注

第一部 第四部

V 資料

夢記年表…野呂靖編

高山寺本・山外本夢記／明恵上人行状・その他資料

明恵略年表…野呂靖編

参考文献一覧…小宮俊海編

事項索引…立木宏哉編

人名一覧…小林あづみ編

あとがき…平野多恵・前川健一

書名	冊数
増補改訂版 明恵上人夢記訳注 奥田 勲・平野多恵・前川健一 [編]	冊
定価8,800円(本体価格8,000円) A5判上製カバー装・580頁(口絵2頁) 2024年10月刊行 ISBN978-4-585-31019-8 C3015	
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

後藤昭雄 [著]

(ことう・あきお) 大阪大学名誉教授。専門は日本漢文学。
主要著書に、『平安朝漢文学論考』(桜楓社、一九八二年。補訂版、勉誠出版、二〇〇五年)、『本朝文粹』(共校注、新日本古典文学大系、岩波書店、一九九二年)、『平安朝漢文学の研究』(吉川弘文館、一九九三年)、『日本古代漢文学与中国文学』(日本中国学文庫、中華書局、二〇〇六年)、『大江匡衡』(人物叢書、吉川弘文館、二〇〇六年)、『平安朝漢文学史論考』(勉誠出版、二〇〇三年)、『本朝漢詩文資料論』(勉誠出版、二〇〇三年)、『平安朝漢詩文の文体と語彙』(勉誠出版、二〇〇七年)など。

平安朝詩文論集

平安朝において漢詩文は、学問の中心として大きな位置を占めていた。

国家儀礼はもとより、官吏登用試験、公的な宴の場や歴史書編纂、さらには宗教の場などにおいても、

漢学の素養の有無がそこに関わる人物の評価に大きく関わるものであった。

平安朝の文人たちが残した漢文資料の一字一文字と真摯に向き合い、内容を読解。

彼らの学問環境、史的位置づけと重ね合わせることで、

平安朝の漢詩文をめぐる歴史的状況を明らかにする。

長年に亘って平安朝の漢文学研究に携わってきた著者の最新論文集。

[目次]

はじめに

一 文学史研究

- 1 平安朝における『孝経』の受容
- 2 平安朝人は『後漢書』をいかに読んだか
——吉川忠夫訓注『後漢書』第一冊を読んで
- 3 中国へ伝えられた日本人の著作——淡海三船の『大乘起信論注』
- 4 淡海三船「南山の智上人に贈る」詩について
- 5 「銅雀台」——勅撰三集の楽府と艶情
- 6 嵯峨朝における「新楽府」受容について
- 7 日唐間における経典の往還——『千手儀軌』の伝流
- 8 仁明朝の官廷文学と東アジア
- 9 桜の文学小史
- 10 菅原是善の願文と王勃の文章
- 11 延喜二十二年大宰府返牒考
- 12 『言泉集』所引の平安中期願文資料
- 13 尚歯会と書と絵
- 14 平安朝における白居易「劉白唱和集解」の受容
- 15 大江匡衡と『文選』
- 16 呉越と平安朝の漢学
- 17 『本朝文粹』の文人——上位入集者とその作品
- 18 『本朝文粹』の一首の詩序と『明衡往来』の一通の書状
- 19 白居易「論友詩」の本文——我が国に残る古写本

二 文人伝研究

- 20 『経国集』の作者序論
 - 21 空海の周辺——勅撰詩集作者との交渉
 - 22 勅撰三集の詩と歴史学
 - 23 『扶桑集』の詩人
 - 24 文人たちの交友——藤原行成を軸として
 - 25 源為憲と藤原有国の交渉について
 - 26 創り出された平安朝詩人——『本朝一人一首』の過誤
 - 27 【付載】史料所載平安朝詩題索引
- あとがき
索引

定価 一三、二〇〇円 (本体 一〇、〇〇円)

A5判・上製・五二八頁
二〇二四年八月刊行
ISBN978-4-585-39043-5 C3090

書名	部数
平安朝詩文論集 後藤昭雄 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

定価 13,200 円(本体 12,000 円)

A5判・上製カバー装・528頁
ISBN978-4-585-39043-5 C3090
2024年8月刊行

小山順子〈著〉

(こやま、じゅん) 京都女子大学教授。専門は古典和歌。主な著書・論文に「藤原良経」(笠間書院二〇一二年)、「和歌のアルバム」(藤原俊成・詠む・編む・変える「平凡社」二〇一七年)、「新古今和歌集」における藤原俊成(『中世文学』67、二〇二二年)、「日本文学と鸚鵡」(歌論用語「鸚鵡返し」をめぐる「河添房江・皆川雅樹編」『唐物』とは何か——船載品をめぐる文化形成と交流「アジア遊学」275、勉誠社二〇二二年)などがある。

本歌取り 表現論考

古典たる古歌を自身の歌に摂取し、
新たな和歌を創造する技法、本歌取り。

藤原定家が『近代秀歌』『詠歌大概』において

準則を定めたこの新古今時代を特徴づける和歌表現は、

如何なる歴史的展開の中で萌芽し、展開、定着していったのか。

作者の意図と読者の読解との連関を支える教養・知的基盤の共同性に着目。

既存の作品から表現や発想を借り、自身のものとして再生する営為の展開を、

平安中期のブレ本歌取りのあり方、

一大歌壇を成した藤原良経の詠作における漢詩文摂取、

新古今時代の新たな和歌表現のあり方を示した藤原俊成の物語摂取、

そして、新古今歌人たちが模索した諸種の本歌取り表現のなかにたどり、

本歌取り成立の歴史的意義を明らかにする。

「古きをこひねがふにとりて、
昔の歌の詞を改めずよみするたるを、
即ち本歌とすと申すなり。」(『近代秀歌』)

定価 12,100円・本体11,000円
A5判・上製カバー装・528頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-39050-3 C3095



例言

序章

本歌取り成立前史

第一章 佳句取りと句題和歌
第二章 『古今集』時代の〈本歌取り〉
第三章 贈答歌と本歌取り——返歌形式の歌合・題詠
第四章 『後撰集』時代の〈本歌取り〉
第五章 引歌と本歌取り

漢詩文摂取

第一章 藤原良経の初学期

第二章 藤原良経『六百番歌合』恋歌における漢詩文摂取

第三章 藤原良経『西洞隠士百首』の寓意と政治性

補説一 「時失へる」の持つ重み

第四章 藤原良経『正治初度百首』の漢詩文摂取

補説二 「人住まぬ不破の関屋」の小考

物語摂取

第一章 藤原俊成自讃歌「夕されば」考

第二章 『伊勢物語』と藤原俊成の歌論・実作

第三章 「源氏見ざる歌詠みは遺恨の事也」考

第四章 「歌語」草の原」と物語的文脈

新古今的表現と本歌取り

第一章 本歌取りと時間——藤原良経の建久期の詠作から

第二章 本歌の凝縮表現——「後京極殿御自歌合」を中心に

第三章 本歌の否定表現——藤原良経『正治初度百首』を中心に

第四章 「最勝四天王院障子和歌」の歌枕表現

第五章 「主ある詞」と本歌取り

終章

あとがき・初出一覧・索引

書名	冊数
本歌取り表現論考 小山順子〈著〉	冊
定価 12,100円・本体11,000円 A5判・上製カバー装・528頁 2025年3月刊行 ISBN978-4-585-39050-3 C3095	
ご送付先ご住所（通信欄）	

平安時代における漢語の受容と創造に迫る

平安期寛弘年間（一〇四〇～一〇二二）に編纂された宮廷官僚詩人の漢詩文集『本朝麗藻』。

王朝漢文学が日本語文学への分化・解体にむかうこの時期に成立した

『本朝麗藻』の収録語を仔細に検討し、その「語性」を考察。

唐以前・唐代の詩文、とくに白詩との関連を探索し、

また作品成立の背景となった史実と、作者の置かれた状況にも言及。

『本朝麗藻簡注』（勉誠社、一九九三年）を全面的に改訂。『本朝麗藻』の内実に迫る。

ほんちようれいそう

本朝麗藻詳注

柳澤良一 著

（やなぎさわ・りょういち）

金沢大学大学院修士課程修了。金沢学院大学名誉教授。主な著書に『本朝麗藻総索引』（勉誠社、一九九三年）、『統撰和漢朗詠集とその研究』（和泉書院、二〇〇一年）、『石川県立図書館蔵 川口文庫善本影印叢書』全三巻（勉誠出版、二〇〇八年～二〇一〇年）、『新撰朗詠集全注釈』全四巻（新典社、二〇一一年）、『和漢朗詠集・新撰朗詠集』（佐藤道生と共著、明治書院、二〇一一年）、『菅家後集の研究』（汲古書院、二〇一二年）など。

二〇二三年
十二月刊行

定価 30,800 円(税込)

[本体28,000円]

B5判並製カバー装・928頁

ISBN978-4-585-39030-5 C3091

勉 誠 社

本文

上巻は尊経閣文庫蔵金沢文庫旧蔵本、下巻は尊経閣文庫蔵建暦三年清寛
加定の奥書をもつ江戸初期の写本を底本とした。
底本の明らかな誤りや欠佚、判読不能の箇所はその他諸本によって補った。
利便性を考慮し、返り点・句読点および通し番号を付した。

通解

原文の理解に役立つ「通解」を掲載。作品には、比喩や見立てなどの
表現を使って詩のイメージをふくらませているものが多数見られる
ので、詩のイメージを損ねないように言葉を選んだ。

春

1 三月三日、侍^レ宴同賦^三間^レ柳^レ発^二紅桃^一、応^レ製。〔以^レ春
為^レ韻〕 儀同三司

三日花朝和暖辰
紅桃間柳発粧新
烟濃纔透綫山月
黛動半蔵曲水春
碧玉簾中裁錦妓
青羅帳後拳燈人
震遊如舊群臣醉
醉意詠歌魏代塵

校異

本朝麗藻諸本との
校異を示す。底本の
本文と異なる場合
はすべて掲出した。

【校異】

底ナシ。群・新・全・紀によって補う。
◇春一私にかりに補う。 ◇応口製一群活・全「応製」。 ◇儀同三司一群・
新「儀同三司」の右旁「伊周」。全「儀同三司」〔伊周〕。紀「藤原伊周」。
◇後一紀「裡」。 ◇震一紀「宸」。

【訓読】

春
三月三日、宴に侍りて同じく「柳に間はつて紅桃発く」といふこ
とを賦し、製に応へまつる。〔「春」を以て韻と為す。〕 儀同三司
三日花の朝 和暖の辰
紅桃柳に間はつて粧ひを發くこと新たなり
烟濃やかにして纔かに透きたり 綫山の月
黛 動きて半ば蔵れたり 曲水の春
碧玉の簾の中 錦を裁つ妓あり

【通解】
春

三月三日、上巳の節句、曲水の宴に伺候し、皆で「柳に間はつ
て紅桃発く」（青柳に交じわって紅の桃花が咲く）の詩題で詩を作り、
勅命にお応えして詠進する。「春」字を韻字とする。

儀同三司（藤原伊周）

花の咲いている三月三日の朝は、穏やかで暖かな日和で、
桃の紅色の花は、青柳に交じわって咲き、今、新たに化粧をしたばかり
のようである。

夕暮れになって、春の霏が濃くたちこめる頃、そのとたんに桃で有名な
綫山から月が出てきて、柳の間から透けて見える。

揺らめく青柳に半ば隠れて桃の紅色の花が見え、今を盛りとする曲水の
春景色は美しい。

辺りの情景は、あたかも碧玉の御簾の内にあでやかな錦の晴着を仕立て
て着ている舞姫が、かすかに見えるかのようであり、

また、青色の薄絹の帳の後ろで、燈火を持つ人が、ほのかに見えるか
のようである。

このすばらしい宴は旧に復したかのごとく華やかで、我々群臣はみな快
く桃花の酒に酔っている。

この酔い心地、この詩歌を詠む宴は、魏の時代の曲水の宴をそのまま受
け継いでいるのではないかと思われる。

本朝麗藻

（ほんちよう・れいそう）漢詩文集。高階積善撰。全二五四首の詩を収録。春・夏・秋およ
び雑題で構成される。約三〇年間という短い期間の作品を集め、漢文学繁栄の様子を伝
える。天皇・親王主催の詩会を収める一方、山荘や寺院における詩もおおく収録する。

書名

本朝麗藻詳注

柳澤良一＝著

ご送付先ご住所（通信欄）

冊数

定価30,800円(税込)

[本体28,000円]

2023年12月刊行

B5判並製カバー装・928頁

ISBN978-4-585-39030-5 C3091

冊

湯沢質幸 [著]

日本人は 漢文を どう読んだか 直読から訓読へ

日本において古代から現在に至るまで延々と読み継がれてきた漢文。その読み方には中国から渡来した中国音で読む〈直読〉、そして、平安時代に生まれ、漢文読解の方法としてその地位を確立した〈訓読〉の二種類が存在する。

しかし、古代から現代までの間に〈直読〉は消え、日本語で読む〈訓読〉がもっぱら使われるようになった。なぜ、日本では〈訓読〉優位の状況が生じたのか――

漢文を取り巻く環境を一つ一つ分析することを通して、〈直読〉から〈訓読〉への変化を追い、日本人の漢字漢文受容の歴史を描きます。

目次

本書の目的

凡例

第一章 直読と訓読

――現代と平安時代――

第二章 平安時代儒学界の直読と訓読

――『宇津保物語』と『北山抄』『江家次第』――

第三章 〈直読から訓読へ〉

――直読の衰退――

第四章 平安時代の訓読

――『白氏文集』――

第五章 『宇津保物語』 併存の再検討

第六章 平安時代儒学界と直読

第七章 儒学界と仏教界

第八章 〈直読から訓読へ〉の周辺

結語／参考文献／後記

執筆者紹介

湯沢質幸 (ゆざわ ただゆき)

一九四三年群馬県前橋市生まれ。

専門は日本語史研究。

東京教育大学文学部研究科修士課程修了。

博士(文学)筑波大学。佐伯国語学賞。山

形大学・筑波大学・京都女子大学に勤務。

著書に『唐音の研究』(勉誠社、一九八七

年)、『日本漢字音史論考』(勉誠社、一九

九六年)、『古代日本人と外国語』(同増

補改訂) 勉誠出版二〇一一年)、『音声・

音韻探求法』(松崎寛と共著、朝倉書店、

二〇〇四年)、『近世儒学韻字と唐音』

(勉誠出版、二〇一四年)、『漢字は日本で

どう生きてきたか』(開拓社、二〇一七

年)などがある。

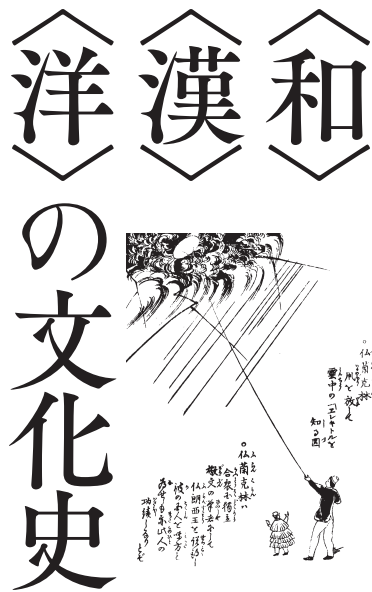
定価 3,520 円(本体価格 3,200 円)

四六判・並製カバー装・240頁
ISBN978-4-585-38006-1 C1081
2024年5月刊行

書名	部数
日本人は漢文をどう読んだか 直読から訓読へ 湯沢質幸 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

日本人にとって 教養とは なにか

古来、人びとはより良い生き方を求め、より広い世界へとつながっていくために、さまざまな文化や知識と触れ合い、まじりあう中で社会と
その規範を作り上げてきた。
奈良時代以前から現代にいたるまで、日本人が「人としてどう生きるか」を模索してきた歴史を、
日本由来の文化である〈和〉、
中国由来の文化である〈漢〉、
そして欧米由来の文化である〈洋〉の
交錯の中から描き出す画期的な一冊。



序章

第一章 奈良時代以前——〈漢〉の摂取

第二章 平安時代——〈和〉の確立

●〈漢〉の展開●〈和〉の確立

第三章 鎌倉・室町時代——〈和〉〈漢〉の併立

●〈和〉の世界●〈漢〉の世界

第四章 安土桃山時代、江戸時代初期——〈和〉〈漢〉の復興

●〈和〉の世界●〈漢〉の世界

第五章 江戸時代——〈和〉〈漢〉の浸透

●〈和〉の世界●〈漢〉の世界●〈洋〉の世界

第六章 幕末、明治時代初期——〈和〉〈漢〉〈洋〉の変容

●〈和〉の近代的な展開●〈漢〉が形成する基盤●〈洋〉がもたらすもの

第七章 明治・大正時代、昭和時代前期——〈和〉〈漢〉〈洋〉の折衷

●〈和〉の世界●〈漢〉の世界●〈洋〉の世界

第八章 昭和時代後期——〈洋〉の圧倒

●〈和〉の世界●〈漢〉の世界●〈洋〉の世界

終章 日本人にとって教養とは何か？

あとがき

索引（人名・書名）



予価 3,850円・本体3,500円

四六判並製カバー装・392頁

2024年10月刊行

ISBN978-4-585-39044-2 C1091

鈴木健一
〈著〉

学習院大学文学部教授。主要著書に、『江戸詩歌史の構想』『古典詩歌入門』『古典注釈入門 歴史と技法』以上、岩波書店、『知つてる古文の知らない魅力（講談社）』『近世堂上歌壇の研究』『江戸古典学論』（以上、汲古書院）、『林羅山年譜稿（へりかん）』、風流、江戸の蕎麦（中央公論新社）『日本評伝選 林羅山』（ミネルヴァ書房）『日本漢詩への招待』（東京堂出版）など多数。

書名

日本人にとって教養とはなにか
〈和〉〈漢〉〈洋〉の文化史

鈴木健一〈著〉

冊数

予価 3,850円・本体3,500円

四六判並製カバー装・392頁

2024年10月刊行

ISBN978-4-585-39044-2 C1091

冊

ご送付先ご住所（通信欄）

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

楷書の秘密

「字様」が発見されるまで

かいしよのひみつ
じようがはつけんされるまで

五万字以上もある楷書の字形が、
乱れることなく現代まで保たれ続けているのはなぜか――

類似する楷書を広く弁別するために編纂された典籍「字様」。

字書とは異なる性格・構成をもつそれは、

科挙制度とも深く結びつきながら楷書字形のあるべき姿を決めていった。

筆者の発見した典籍『正名要録』『群書新定字様』の精査から浮かんでくる「字様」という概念を紹介する。

また『説文解字』の検討により、楷書の歴史を整理し、字体の規定の有り様を明らかにするとともに、

「楷書」という東アジア漢字文化圏を支える文字体系の解明を目指す。

西原一幸 [著]

(にしはら かずゆき) 一九四七年生まれ。

金城学院大学名誉教授。

専門は中国・日本の古代辞書。

主な著書に『唐代字様二種の研究と索引』(大友信一と共著、桜楓社、一九八四年)、『字様の研究――唐代楷書字体規範の成立と展開』(勉誠出版、二〇一五年)などがある。

もくじ

- 一九七〇年代までの研究状況
 - 新資料の出現
 - 『干禄字書』と『五经文字』は字様である
 - 隋・唐代の弁別体系と字様
 - 新資料の出現
 - 『干禄字書』の威力
 - 石経が採用される理由
 - 開成石経と『五经文字』
 - 『正名要録』と『顔氏家訓』
 - 俗体とは何か――顔元孫と俗体の成立――
 - 開成石経と唐玄度撰『新加九经字樣』――石経字形はどのようにして決められたか――
 - 文宗の最後
 - 唐代楷書字体規範からみた『龍龕手鏡』
 - 異体字同定上の問題点
 - 楷書の秘密
- あとがき

定価 四、一八〇円 (本体三八〇〇円)

四六判・並製・二〇八頁

二〇二四年二月刊行

ISBN978-4-585-38005-4 C3080

書名	部数
楷書の秘密 「字様」が発見されるまで 西原一幸 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

定価 4,180 円(本体 3,800 円)

四六判・並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-38005-4 C3080
2024年2月刊行

論究 日本近代語 第3集

日本近代語研究会 [編]

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字・表記、文法、語彙、表現、対照研究等の
日本語学的観点から詳細に考究した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-38523-3 C3081
2024年4月刊行

【好評既刊】

論究 日本近代語 第1集 第2集

日本近代語研究会 [編]

各定価 16,500 円
(本体価格 15,000 円)

第1集

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2
C3081
2020年3月刊行

第2集

A5判上製カバー装・368頁
ISBN978-4-585-28522-6
C3081
2022年3月刊行

第3集【目次】

- ・チラス・チラス考——接尾語的用法の史的展開——■島田泰子
ひまわり語彙小考■荒尾頼秀
上方・大阪方言の卑罵語オル・ヨルの変化について
——中世末期以降の行為指示表現に注目して——■西谷龍二
驚流狂言台本忠政本の行為要求表現
——虎明本・狂言六義との対照を通して——■八坂尚美
近世前期恒常条件の再理解■矢島正浩
助動詞の用法記述における「確述」「強意」の史的展開■久保証子
江戸時代後期版本における草書体の漢字列の特徴について
——『金花七変化』を中心に——■内田久美子
明治期文学作品における「丁寧」と「否定」の文法カテゴリーを含む
述語部の構造■許哲
大阪版『改正増補英語箋』(卜部氏訳)における『仏語箋』の利用■櫻井豪人
2つの『広益熟字典』■今野真二
F. エヴラール『日本語教程』(1874 年刊)の人称代名詞■岸本恵実
若松賤子訳『小公子』の「文末ハ」■栗田岳
『尺牘双魚』『行厨集』果品・穀食語彙の明治期における展開
——水晶(スイカ)・仙餌(マンジュウ)を中心に——■園田博文
近代日本の中国語会話書における程度副詞の日中対照研究
——明治後期を中心に——■金敬玲
国定教科書にみる近代の「レル敬語」■高橋圭子・東泉裕子
〈ざあます言葉〉と呼ばれる言葉遣いに対する眼差し
——「国立国会図書館デジタルコレクション」を利用した調査結果から——■岡田祥平
『全国小学児童綴方展覧会』採録植民地期台湾系児童「綴方」における
「れる」「られる」使用の諸相■上出大河
虚構の中の話し言葉について——虚構度・創作度・脚色度——■安井寿枝
言語行為へのローカル文法的アプローチ
——日本語の拒否表現をテーマとして——■陳慧玲・劉乙亭
格助詞性複合辞の連体用法に関する考察
——法律条文を中心に——■丁文靜
丁寧体過去形式「～かったです」について
——「国会会議録検索システム」を例として——■神作晋一
応答表現としての「たしかに」の意味・用法■苅宿紀子
ビジネスドラマにおける依頼表現
——上下関係・話し手の性別・聞き手の性別による影響——■茅桂英
少年漫画で使用される技法要素が内包する役割■葉袋優貴
頻度を表す副詞の程度性——「十年に一度の」を例に——■櫛橋比早子
索引／執筆者一覧
編集後記■編集委員会

書名	部数
論究 日本近代語 第3集	
定価16,500円(本体価格15,000円) A5判上製カバー装・424頁 2024年4月刊行 ISBN978-4-585-38523-3 C3081	
日本近代語研究会 [編]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

No.32

小特集

■大和高田の白拍子舞

——白拍子・静御前と龍神の道、太陽の道

■宮澤賢治の周縁

定価 3,850円(本体価格3,500円)

A5判・並製・376頁+カラー口絵2頁
ISBN978-4-585-32463-8 C1320
2025年3月刊行

歴史文化研究の交流拠点、開港。

歴史学・文学・言語学・民俗学など諸学の粋を集め、
ジャンルを越えた新たな学問世界への扉を開く。

もくじ

カラー口絵

■小特集 大和高田の白拍子舞——白拍子・静御前と龍神の道、太陽の道

静御前のふるさと・大和高田の白拍子——儀野禪師と静御前——●鈴鹿千代乃

『義経記』しんむじやうの曲と水宴曲・水白拍子

——古代大和の水の信仰と磯禪師・静御前——●藏中しのぶ

ヤマトの中の吉野

——金峯山寺藏王堂の「蓮華会」と「蛙跳び行事」を考える——●大石泰夫

「白拍子」考——俳諧師西鶴と英一蝶の接点より——●森田雅也

白拍子舞の成立と『教訓抄』妓女の舞●上原作和

■小特集 宮澤賢治の周縁

宮沢賢治、青柳亮、米原弘——因果交流の精神史——●浦和男

宮沢賢治著「虔十公園林」と「虔十の林」

——日本青年館「青年」第二四卷四号(昭和十四年四月号)

掲載「虔十の林」をめぐって——●相田満

* * *

『源氏物語』における明石姫君と桐の花の関係

——白居易「答桐花詩」の受容をめぐって——●丹羽雄一

『紫式部日記』における「白氏文集」新楽府「陵園妾」

——「露のわきける身」という表現——●佐藤有貴

レスコヴィッチ財団所蔵・歌川広重画団扇絵「女三十六歌仙之内」斎宮女御「致

——団扇絵にみる謡曲「松風」——●高木ゆみ子

『唐話纂要』「常言」の『水滸伝』引用

——『通俗忠義水滸伝』との対照分析——●耿蘭

古典満洲語における「i」の省略

——後置詞banを伴う場合を中心に——●早田清冷

『徒然草』翻訳攷——近代以降の翻訳書目、研究史、今後の展望——●小枝駿

■注釈

増田立軒撰『惕斎先生行状』注解●張艶軍

* * *

『箋注倭名類聚抄』研究会『箋注倭名類聚抄』注釈 卷二 天地部・景宿類一

彗星●中野方子

長庚●西崎亨

たなはたつめ「織女星」●萩原義雄

■連載

『古事記』の言ひ分(二)——倭建命はなぜ出雲へ行ったか——●鈴鹿千代乃

クロス・メディアのナラティブをめぐって、

前近代日本における書き言葉の多様性に及ぶ(二)●鈴木貞美

彙報・編集後記●相田満・藏中しのぶ

書名

水門 言葉と歴史 No.32

水門の会「編」

ご送付先ご住所(通信欄)

部数

定価3,850円(本体価格3,500円)

A5判並製カバー装・378頁

2025年3月刊行

ISBN978-4-585-32463-8 C1320

部

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

デジタルアーカイブ入門

つかう・つくる・支える

柳与志夫・渡邊英徳——責任編集

東京大学
大学院情報学環特任教授東京大学
大学院情報学環教授

【編集委員】

井上奈智・大井将生・嘉村哲郎・塩崎亮・高田百合奈・原田真喜子・山下ユミ

近畿大学

同志社大学

東京藝術大学

聖学院大学

青山学院大学

都留文科大学

東京大学

京都府立図書館

これを読めば「デジタルアーカイブ」がわかる！

AI、ビッグデータ解析、ブロックチェーン、クラウド技術、RAG…。

デジタル技術の進化によって、

「保存」「記録」の概念は大きな変化を遂げつつある。

その中で「真正な記録」を残し、「共有」と「再創造」の場を提供することがデジタルアーカイブ(DA)のあらたな使命となる。

『入門 デジタルアーカイブ』(2017年刊行)以降も
日進月歩で変化し続けるDAにまつわる事象・事項を、
実際にDAの現場に携わる執筆者陣がわかりやすく、網羅的に解説。
同書とは内容・項目を全面的に刷新し、最新の情報を提供。
基礎を知り、学ぶために必携の一冊！

本書の構成

第I部 つかう

第1章 つかうための技術

第2章 様々な種類のデジタルアーカイブ事例と目的に沿った利用方法

第3章 参加型デジタルアーカイブ

第4章 二次利用(多次利用)の仕方——つかう側の視点から

第5章 デジタルアーカイブの評価

第II部 つくる

第6章 デジタルアーカイブの構築工程

第7章 デジタルアーカイブの公開・提供その1——ICTシステムの設計

第8章 デジタルアーカイブの公開・提供その2——法規対策

第III部 支える

第9章 デジタルアーカイブの管理運営

第10章 政策・社会制度

付録 デジタルアーカイブに関わる主要な学術団体、産業団体等

収録項目

第1章

◎画像◎音声◎映像◎立体と3Dモデル
◎補正技術◎フォーマット◎ウェブ開発技術
◎ネットワークとクラウド技術
◎サーバー・ストレージシステム
◎AI◎データ/メタデータ◎GIS

第2章

◎学術利用◎教育利用◎防災利用
◎商用(B to C)・産業利用(B to B)
◎観光・地域振興目的◎行政サービス
◎統合的デジタルアーカイブ
◎参加型デジタルアーカイブの背景と多様性

第3章

◎参加型デジタルアーカイブの欧米における事例◎日本の事例
◎参加型デジタルアーカイブの形態をとるその他の事例

第4章

◎「つかう」ときの著作権の関わり◎権利情報の調査と処理
◎寄託・寄贈によるコンテンツの処理◎パブリックライセンス
◎オープンソースとAPI(Application Programming Interface)
◎フェアユースの考え方と事例◎関係する政策と制度
◎AIのための学習データセット

第5章

◎デジタルアーカイブの評価とは◎自己評価
◎アウトカムに着目した評価◎評価のアップデート

第6章

◎目的と方針の策定◎資金調達の仕方◎デジタル化する対象の選定
◎デジタルアーカイブ公開に備えた著作権処理◎デジタル化作業
◎ボーンデジタルコンテンツの収集・保存・構造化
◎メタデータの作成と運用◎システム基盤の検討

第7章

◎デジタルアーカイブのUX・UI◎検索システムの設計と工夫
◎コンテンツ編成(データの利用)◎デジタルアーカイブシステムプラットフォーム
◎SNSを利用した情報発信◎ヴァーチャル・リアリティ(VR)への展望

第8章

◎著作権処理の全体像◎肖像権◎個人情報保護
◎プライバシー権、パブリシティ権◎利用条件設定

第9章

◎管理運営主体◎運営体制:概要と事例◎予算・コスト◎継続、移行(移管)、閉鎖
◎データの保管(長期保存)◎実空間とデジタル空間における展示とその架橋
◎デジタルアーカイブの連携◎デジタルアーカイブの個人での学び方

第10章

◎デジタルアーカイブに関わる政策◎データ公開基盤
◎プラットフォームと制度◎サイバーセキュリティ対策

書名

冊数

デジタルアーカイブ入門

つかう・つくる・支える

柳与志夫・渡邊英徳〈責任編集〉

定価4,620円・本体4,200円

A5判・並製カバー装・464頁

2025年5月刊行

ISBN978-4-585-30015-1 C1000

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

デジタルデータの長期保存・活用

その理論と実践

嘉村哲郎〔責任編集〕

デジタルアーカイブを社会基盤として確立するため、
保存と運用管理に必要な基盤的要素の現状を考察する

わが国のデジタルアーカイブ(DA)は、横断的な検索プラットフォームとして定着しつつある。しかし、データ公開に関わる技術や方法論については活発な議論がなされている一方で、デジタルデータを保存するための情報システム基盤や運用管理といったインフラの観点からの検討は不十分な状況にある。本書では、理論研究の専門家による知見と、情報システム基盤や運用管理の実務的観点を組み合わせながら、デジタルデータ長期保存の理論と実践について論じ、将来のDA活用に向けた基盤づくりをめざす。

目次

本書の趣旨と構成●嘉村哲郎

序章 デジタルアーカイブにおけるデジタル保存の課題——消えていくデジタルアーカイブ●柴山明寛

第1部 デジタル保存の理論と国際標準

第1章 デジタルアーカイブにおける長期保存のためのシステムとメタデータのモデル●杉本重雄

第2章 デジタル保存実践のための指針

——デジタル保存連合の『デジタル保存ハンドブック』と「ラビッド・アセスメントモデル」の検討●平野 泉

第3章 UNESCOにおけるデジタル資料の保存に関する活動●松永しのぶ

コラム1 日本における長期保存の課題

——2021年度国内実態調査から見てきたこと●国立国会図書館電子情報部電子情報企画課次世代システム開発研究室

第2部 組織における長期保存の実践

第4章 現場から考えるデジタルアーカイブの課題と長期的な継続を図るための具体策●山崎博樹

第5章 国立国会図書館におけるデジタル資料の長期保存に関する取組●国立国会図書館電子情報部電子情報企画課次世代システム開発研究室

第6章 文化財デジタルデータの長期保存と管理●高田祐一

第7章 デジタルデータの保存、管理、活用——コラボレーションについての視点●中西智範

第8章 デジタルデータの保存と管理および活用——企業の視点から●肥田 康

コラム2 I.B.MUSEUM SaaS——博物館デジタルアーカイブのプラットフォームへ●内田剛史

第3部 研究基盤としてのDA

第9章 研究データの始まりから終わりまで

——オープンサイエンスにおける研究データ基盤NII Research Data Cloudの役割●込山悠介

第10章 大学・研究機関における研究データ基盤構築に向けて●南山泰之・松原茂樹・青木学聡・結城憲司

第11章 東北大学における総合知デジタルアーカイブ構築●加藤 諭

第12章 持続可能な情報基盤としての東京大学学術資産等アーカイブズプラットフォーム●田口忠祐

コラム3 映画・映像ファイルのデジタル保存——論点の整理と国立映画アーカイブの取り組み●三浦和己

第4部 DAの社会基盤化と文化的価値

第13章 デジタルアーカイブは誰のものなのか、どうあるべきものなのか●渡辺智暁

まとめと展望 デジタルアーカイブの基盤的考察——物理的依存とデジタル価値の相互形成●嘉村哲郎

執筆者一覧

第3期(全3巻)の
第2巻刊行!

定価4,620円(本体4,200円)

A5判並製カバー装・392頁

ISBN 978-4-585-30305-3・C1000

2025年3月刊行

【編者プロフィール】

嘉村哲郎(かむら・てつろう)

東京藝術大学芸術情報センター准教授／情報戦略統括室(CIO室)。専門は博物館情報の組織化、芸術作品・資料等のデジタル化およびアーカイブ。主な著書・論文に『デジタルアーカイブ・ベーシックス4 アートシーンを支える』(責任編集、勉誠出版、2020年)、『博物館・図書館・文書館から見たアーカイブ史』(『デジタル時代のアーカイブ系譜学』みすず書房、2022年)、『デジタルアーカイブにおける分散型情報技術を用いたコンテンツ管理と流通』(『デジタルアーカイブ学会誌』6(s3)、2022年)、『著名な日本人洋画家の属性分析に基づく特徴抽出の試み』(共同執筆、『人工知能学会全国大会論文集』2020年)などがある。

注文書

書名	部数	ご送付先ご住所(通信欄)
デジタルアーカイブ・ベーシックス デジタルデータの長期保存・活用 その理論と実践 嘉村哲郎〔責任編集〕	部	
デジタルアーカイブ・ベーシックス デジタル時代のコレクション論 中村覚・逢坂裕紀子〔責任編集〕	部	
デジタルアーカイブ・ベーシックス 第2期:各巻定価3,520円(本体3,200円)		
第2期 ①知識インフラの再設計 256頁／2022年11月刊行 ISBN 978-4-585-30301-5・C1000	部	
②共振するデジタル人文科学とデジタルアーカイブ 248頁／2023年7月刊行 ISBN 978-4-585-30302-2・C1000	部	
③ひらかれる公共資料 216頁／2023年11月刊行 ISBN 978-4-585-30303-9・C1000	部	

藤本幸夫

〔ふじもと・ゆきお〕富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞・恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡 鑑研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐ 本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

執筆者一覧

- 第一部 佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤圭子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部 住吉明彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部 鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

定価 一七、六〇〇円（税込）
（本体 一六、〇〇〇円）
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

書 名		部 数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 [編]	定価17,600円・本体16,000円
		B5判上製カバー装・896頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-30002 C3000
ご送付先ご住所（通信欄）		部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

日本人の読書

新装版

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

人びとは何を読み、
どのように学んできたのか――

古代・中世の日本において、

書物を読み、解釈し、伝えていくことは、

限られた人びとにのみ許される特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた

漢籍（漢語で書かれた書物）は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。

中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問――漢学――は、国家の制度のなかにも位置付けられ、

それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していった。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、

古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から

古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』／『文選集注』巻七断簡／『文選集注』巻百十二断簡

金澤文庫本『文選集注』巻六十二残簡／『佐保類切』『施氏七書講義』断簡

『佐保類切』『施氏七書講義』残簡／『道德経切』『老子道德経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生（さとう みちお）

一九五五年生まれ。慶応義塾大学名誉教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期日本漢文学の研究』（笠間書院、二〇〇三年）、『三河鳳来寺旧蔵暦応二年書写和漢朗詠集影印と研究』（勉誠出版、二〇一四年）、『句題詩論考――王朝漢詩とは何ぞや』（勉誠出版、二〇一六年）、『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討（『変革期の社会と九条兼実――『玉葉』をひらく』勉誠出版、二〇一八年）などがある。

※本書は『日本人の読書』（二〇一三年九月刊行）の新装版です。

目次

カラー口絵

◎本編

第一章 古代・中世日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本
――唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世 漢文訓読史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活――『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事
――藤原兼実「可依変異被行撰災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋経伝集解』奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相
――天文版『論語』の果たした役割第十二章 清原家の学問と漢籍
――『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える第十三章 吉田家旧蔵の兵書
――慶應義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて第十四章 「佐保切」追跡
――大燈国師を伝称筆者とする書蹟に関する考察

第十五章 伝授と筆耕――呉三郎入道の事績

第十六章 『古文孝経』永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本
――『史記』『春秋経伝集解』の書写者を探る

◎附篇

第十八章 『朝野群載』巻十三の問題点

第十九章 日本漢学史上の句題詩

第二十章 『本朝麗藻』所収の積奠詩――句題詩の変型として

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十四章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

第二十五章 『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討

第二十六章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

あとがき／初出一覧／図版一覧／索引

定価 11,000 円(本体 10,000 円)
A5判・並製カバー装・
520頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39047-3 C3091
2024年12月刊行

書名	部数
日本人の読書 新装版 古代・中世の学問を探る 佐藤道生 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

定価 11,000 円(本体 10,000 円)
A5判・並製カバー装
520頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39047-3 C3091
2024年12月刊行

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫〈編〉

訂正新版

図説

書誌学

古典籍を

学ぶ

「書物」という

文化遺産の
継承のために

有史以来蓄積されてきた「書物」は、人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、学術文芸の遺産である。

この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか——「書物」との真摯な対話により、過去から現在、そして未来へと連なる人間の知的営みの一端に自らリンクすることが出来るのである。

定価三、八五〇円(税込)

本体三、五〇〇円(十税)

二〇二三年一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・二三四頁
ISBN978-4-585-30010-6 C1500

※本書は『図説 書誌学』(二〇一〇年初版発行)の訂正新版です。訂正新版刊行に際し、誤字・脱字等の訂正を施しました。



I 書物との対話——書誌学研究の視点

はじめに——書誌学とは

第一章 本の姿

表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第二章 本の様々

漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第三章 本の誕生

誕生以前／自筆本／転写本・影写本・臨写本

第四章 本の流通

版下・校正刷り／翻刻本／摸刻本／伝写本

第五章 版本の時代

宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生

付点・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達

目録学の発達／版本学の発達／考証学と近代

II 斯道文庫の五十年——これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

・ 椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／亀井家学文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センチユリー文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガスパルドス文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蔵書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 執筆一覧／書誌学用語索引



本書の特徴

昭和三五年(一九六〇)の開設以来、書誌学の専門研究所として学界をリードしてきた斯道文庫所蔵の豊富な古典籍の中から、特に書誌学的観点から重要なものを選出、豊富なカラー図版・解説を掲載することで、書誌学の理念プロセス技術を学ぶことが出来る。

書名

訂正新版 図説 書誌学 古典籍を学ぶ

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫〈編〉

冊数

定価 3,850円(税込)・本体3,500円

A4判並製カバー装・224頁
2023年11月刊行

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。

東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

書物學

26



定価 2,200円・本体 2,000円
B5判並製・120頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-30726-6 C1000
[書物学・第26巻]

古筆見の仕事 真偽の先に あるもの

Kohitsumi No Shigoto

■特集

序論・身近にある鑑定文化……佐々木孝浩

文化としての古筆鑑定……佐々木孝浩

日本書道史における「鑑定」……金子馨

烏丸光広の鑑定実績……久保木秀夫

古筆家歴代について……中村健太郎

Column 古筆鑑定書の形式と種類……中村健太郎

古筆鑑定文書の「琴山」印について……中村健太郎

古筆本家歴代略歴および極印一覧……中村健太郎

大應寺と古筆了佐……本多潤子

始まりは愛……ウオーリー朗子

本文の仮名字母を用いた

『源氏物語』写本の分類と伝称筆者の関係……齊藤鉄也

■連載

松朋堂新収古書解題・第五回……佐藤道生

西洋古書の遠近法・VOL.13……雪嶋宏一



この筆跡は誰のものなのか。
ホンモノなのかニセモノなのか。
由緒正しきモノなのか。

モノにまつわる世界で常に問われ続ける永遠のテーマである。

この「鑑定」という文化を、江戸時代の始まりより

明治、大正、昭和に至るまで支えてきた人々がいた——古筆見である。

その痕跡は「極付き」「折紙付き」という言葉や、
博物館などでよく目にする「伝○○」という表現に残されており、
今なお我々のモノの見方にも大きな影響を与え続けている。

「古筆見」とその中心であった「古筆家」はいかに成立・展開していったのか。
鑑定書や鑑定印にはどのような種類があるのか。

彼らの鑑定を現代の我々はどのように考えるべきなのか。

古筆家伝来の内部資料、菩提寺に残された資料や文物、
さらには長期にわたる研究・蒐集の成果により、
これまで纏まった記述のなされることのなかった
古筆見・古筆家の営為や文化史的意義を多角的に明らかにする。

書名

古筆見の仕事
真偽の先にあるもの

編集部〈編〉

ご送付先ご住所（通信欄）

冊数

冊

定価 2,200円・本体 2,000円

B5判並製・120頁・2025年2月刊行

ISBN978-4-585-30726-6 C1000

[書物学・第26巻]

近代製本の100年

編集部「編」

製本とは人である。

折る、重ねる、綴じる、表紙を付ける……。

製本には様々な工程があり、それぞれの作業を得意とする工場によるリレーの中で書物としてのかたちが作り上げられていく。

日々進歩する製本機械のオペレーティング、昔と変わらない手作業でしかできない工程、そして各工程を担う工場をまとめ上げる人脈。

製本という営為には確実に人が関わり、技術の刷新と継承が行われている。

製本の現場、工程、技術、そこに携わる人々のあり様に迫り、書物文化の100年を製本という側面から考える。

大正13年創立の「京都製本紙裁同盟会」から始まって、今年100周年を迎える京都府製本工業組合の面々による座談会も収録。

京都の製本を支えてきた現場の方たちの研鑽の歴史、製本の現在の生の声をお届けする。

目次

序言——磯部敦

製本研究へのアプローチ——磯部敦

中国から来た洋式製本術——木戸雄一

木版挿絵本の製本から見る著者と造本者の意向——泉鏡花『絵本辰巳巷談』——真田幸治

変態する書物——吉井勇『酒ほがひ』二種の「再版」本——山中剛史

これからの製本研究者のために(Q&A)——安井海洋「編」

【座談会】京都の製本 過去・現在・未来

山崎喜市(山崎紙工株式会社)・早瀬篤史(新日本製本株式会社)・蒲田敏也(株式会社蒲田文寿堂)・大入達男(株式会社大入)・田辺元(有限会社シミズ表紙)・藤原智之(藤原製本株式会社)・酒本賢史(有限会社酒本製本所)・加悦史高(加悦日進堂製本所)
聞き手:磯部敦・安井海洋

●連載

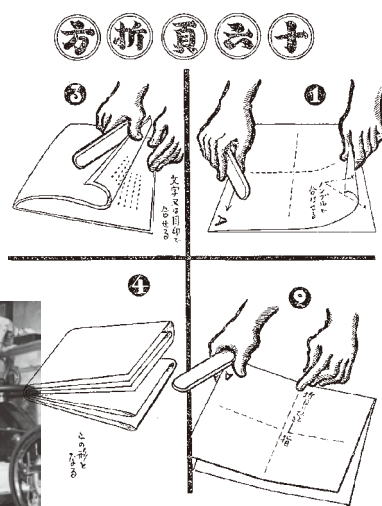
書物の声を聞く書誌学入門[第23回]——佐々木孝浩

松朋堂新収古書解題[第7回]——佐藤道生

西洋古書の遠近法[第14回]——雪嶋宏一

製本コラムを収録!!
安井海洋「著」

綴じ
折丁
特殊製本



定価 2,200円・本体2,000円
B5判・並製フルカラー・98頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-30727-3 C1000

書名	冊数
近代製本の100年 編集部「編」 書物学 No.27	定価 2,200円・本体2,000円 B5判・並製フルカラー・98頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-30727-3 C1000
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠社 在庫僅少本一覧

(日本語学会・訓点語学会会員様向け) 2025/5/1現在
売り切れの際はご容赦ください

Xでも僅少本を定期的にご案内しています! (@benseyzaiko)

メール、FAX、郵送にて、在庫をご照会ください。折り返しご連絡させていただきます。

※ご注意ください! ※僅少本は、特に表紙まわりに汚損がございます。ご了承ください。

(空欄は10以上有)



在庫有タイトルと同様に、
セール期間中は2割引きます!

ISBN	書名	編著者名	本体価格	在庫残
00003	天草版 イソガ物語	福島邦道 解説	1,500	2
03067	醍醐寺文書聖教目録 第一巻第一函～第二〇函	総本山醍醐寺 編	20,000	6
03142	醍醐寺文書聖教目録 第二巻第二一函～第四〇函	総本山醍醐寺 編	20,000	3
03199	醍醐寺文書聖教目録 第三巻第四一函～第六〇函	総本山醍醐寺 編	30,000	4
21039	醍醐寺文書聖教目録 第四巻第六一函～第八〇函	総本山醍醐寺 編	30,000	6
03096	醍醐寺文書聖教目録 第六巻第一〇一函～第一三〇函	総本山醍醐寺 編	20,000	8
22500	枝葉抄 影印・翻刻・註解 Y20000E	総本山醍醐寺 編	20,000	8
20014	日葡辞書 Y100000E	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所蔵/月本雅幸 解題	100,000	
03152	改訂新版 文明本節用集 Y41000E	中田祝夫 著	41,000	7
03153	改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引 Y30000E	中田祝夫・小林祥次郎 著	30,000	3
03237	改訂新版 古本節用集六種研 Y 43000 E	中田祝夫 著	43,000	6
03176	古写本和名類聚抄集成 Y65000E	馬淵和夫 著	65,000	5
03137	ラホ日辞典の日本語 Y40000E	金沢大学法文学部国文学研究室 編	40,000	2
03138	仮名遣及仮名字体沿革史料 Y18000E	大矢透 著/中田祝夫・峰岸明 解説索引	18,000	5
03139	図書寮本類聚名義抄 Y20000E	築島裕 解説/橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	20,000	4
03144	狂言六義総索引 Y20000E	東京都立大学中世語研究会 編/小林賢次 代表	20,000	2
10013	狂言記 外五十番の研究 Y32000E	北原保雄・大倉浩 著	32,000	3
00671	玄玖本太平記 (1) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	1
00672	玄玖本太平記 (2) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	品切
00673	玄玖本太平記 (3) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	1
00674	玄玖本太平記 (4) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	1
00675	玄玖本太平記 (5) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	1
01003	延慶本 平家物語 本文篇	北原保雄・小川栄一 編	25,000	4
03060	古代日本研究文献総合目録筆者別目録明治元年～平成十年三月	平田耿二 編	38,000	2
03075	改編 匠材集 Y5000E	小林祥次郎 編	5,000	1
03088	和名類聚抄の文献学的研究 Y25000E	林忠鵬 著	25,000	3
03128	中世聖徳太子伝集成 Y98000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	98,000	7
03131	阿倍仲麻呂傳研究 Y28000E	杉本直治郎 著/神鷹徳治 序/氣賀澤保規 解題	28,000	2
03132	大乘院寺社雑事記紙背文書2 Y10600E	佐藤進一・笠松宏至・永村真 編	10,600	
10088	大乘院寺社雑事記紙背文書 第一巻	佐藤進一・笠松宏至・永村真 編	9,800	
03160	古今集注釈書伝本書目 Y30000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	30,000	5
03165	空海及び白楽天の著作に係わる注釈書類の調査研究Y40000E	太田次男 著	40,000	2
03174	金剛寺本『三宝感応要略録』の Y16000E	後藤昭雄 監修	16,000	2
03181	『菅家文草』明暦二年写 藤井懶斎自筆奥書本 石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書1	柳澤良一 編	12,000	1
03182	和漢朗詠集私註・文筆問答抄 Y 12000 E	柳澤良一 編	12,000	4
03183	江吏部集・無題詩 Y12000E	柳澤良一 編	12,000	3
03191	古今集注釈書影印叢刊1僻案抄Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/佐々木孝浩 解題	10,000	2
03192	古今集注釈書影印叢刊2古今和Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/川上新一郎 解題	10,000	2
03194	古今集注釈書影印叢刊4 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/山本令子・石神秀美 解題	10,000	2
03195	古今集注釈書影印叢刊5 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/川上新一郎 解題	10,000	2
03196	古今集注釈書影印叢刊6 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/川上新一郎 解題	10,000	2
03197	古今集注釈書影印叢刊7 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/川上新一郎 解題	10,000	2
03198	古今集注釈書影印叢刊8 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修/川上新一郎 解題	10,000	2
03215	倭訓栞 Y 28000 E	三澤薫生 編著	28,000	2
03216	江戸・東京語研究 共通語への Y 12500 E	土屋信一 著	12,500	3
03217	誤解された万葉語 Y 5000 E	吉田金彦 著	5,000	1
03219	『文字のしるべ』影印・研究 Y 28000 E	岡増裕剛 編著	28,000	2
03221	三大編纂物の出版文化史 Y3200E	熊田淳美 著	3,200	14
03232	文化財と古文書学筆跡論	湯山賢一 編	3,600	
03240	源氏物語 梅枝・紅葉賀甲南女子大学蔵鎌倉時代古写本	米田明美 解説	18,000	2
03241	伊勢物語 坊所鍋島家本	国文学研究資料館 監修	15,000	4
05367	本朝文粹抄	後藤昭雄 著	2,800	
05407	本朝文粹抄 二	後藤昭雄 著	2,800	
08001	本朝麗藻総索引	柳澤良一 編	9,709	4
08004	源氏物語語彙用例総索引自立 Y143000E	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一 編	143,000	2
10003	源氏物語語彙用例総索引 付属 Y128000E	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一・藤田真理 編	128,000	5
10004	平家物語高野本語彙 自立語篇 Y89000E	近藤政美・武山隆昭・近藤三佐子 編	89,000	3
10026	平家物語高野本語彙 付属語篇 Y79000E	近藤政美・武山隆昭・池村奈代美・濱千代いつみ・近藤三佐子 編	79,000	4
10011	紫式部日記語彙用例総索引 Y19000E	今西祐一郎・上田英代・村上征勝 編	19,000	4
10043	天草版平家物語語彙用例総索引 Y80000E	近藤政美・池村奈代美・濱千代いつみ 編	80,000	3

10008	徒然草古注釈集成 Y31068E	吉澤貞人 編著	31,068	2
10010	旧鈔本を中心とする白氏文集本文の研究 Y63000E	太田次男 著	63,000	3
07086	白居易研究年報 第八号	太田次男ほか 編	5,000	1
07093	白居易研究年報 第15号特集 先蹤と継承	白居易研究会 編	4,200	1
07097	白居易研究年報 第19号特集 伝奇と説話	白居易研究会 編	4,800	1
07098	白居易研究年報 最終号特集 歌舞音楽 附 日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会 編	9,000	2
10033	長門本平家物語の総合 第一巻 Y29000E	麻原美子・名波弘彰 編	29,000	3
10034	長門本平家物語の総合 第二巻 Y27000E	麻原美子 編	27,000	4
10061	長門本 平家物語の総合研究 第三巻論究篇	麻原美子・犬井善寿 編	30,000	3
10441	長門本平家物語自立語索引 Y29000E	小川栄一・麻原美子・大倉浩・佐藤智広・小井土守敏 編	29,000	7
10438	延慶本平家物語の日本語史的研Y16500E	小川栄一 著	16,500	3
10449	平家物語長門本延慶本対照本 Y 44300	麻原美子・佐藤智広・小川栄一・小井土守敏・大倉浩 編	44,300	0
10014	中世興福寺維摩会の研究 Y11000E	高山有紀 著	11,000	2
10016	住吉物語の基礎的研究	武山隆昭 著	23,000	1
10084	うつほ物語の総合研究 2古注釈編 1	室城秀之・西端幸雄ほか 編	19,000	2
10027	守覚法親王と仁和寺御 仁和寺蔵Y42000E	阿部泰郎・山崎誠 編	42,000	7
10075	守覚法親王と仁和寺御 金沢文庫Y17600E	阿部泰郎・山崎誠・福島金治 編	17,600	4
10031	『塵袋』とその研究 Y37000E	山崎誠 編	37,000	3
10036	中世古典学の書誌学的研究	武井和人 著	19,600	4
10044	冥報記の研究 第一巻	説話研究会 編	27,400	3
10064	冥報記の研究 第二巻	説話研究会 編	18,800	3
10091	日本詩紀 本文と総索引 Y72000E	高島要 編	72,000	3
10431	東瀛詩選本文と総索引 Y117000E	高島要 編	117,000	4
10433	日本仏教説話集の源流	小林保治・李銘敬 著	40,000	2
10448	校訂 京大本 太平記 Y 49500 E	小秋元段・北村昌幸・長坂成行・和田琢磨 編	49,500	3
22071	国宝 岩崎本 日本書紀 Y35000E	京都国立博物館 編／石塚晴通・赤尾栄慶 解題	35,000	
22072	国宝 吉田本 日本書紀 Y100000E	京都国立博物館 編／石塚晴通・羽田聡 解題	100,000	
22073	国宝 浄名玄論 Y100000E	京都国立博物館 編／石塚晴通・赤尾栄慶 解題	100,000	
10063	新編西鶴全集第一巻・索引 Y86000E	新編西鶴全集編集委員会 編	86,000	3
10086	新編西鶴全集第二巻・索引 Y117000E	新編西鶴全集編集委員会 編	117,000	4
10087	新編西鶴全集第三巻・索引 Y86000E	新編西鶴全集編集委員会 編	86,000	4
10093	新編西鶴全集第四巻・索引 Y85000E	新編西鶴全集編集委員会 編	85,000	2
10434	新編西鶴全集第五巻・索引 Y90000E	新編西鶴全集編集委員会 編	90,000	3
10082	売立目録の書誌と全国所在一覧 Y40000E	都守淳夫 編著	40,000	2
10097	日本音声学研究 Y20000E	城生伯太郎 著	20,000	2
10060	正治百首の研究	山崎桂子 著	18,000	1
10440	関流和算書大成 Y103000E	東アジア数学史研究会 編／ 岡本和夫 代表 (川原秀城／渡辺純成／佐藤賢一／安 大玉)	103,000	3
10445	関流和算書大成 第二期 Y 170000 E	東アジア数学史研究会 編／ 岡本和夫 代表 (川原秀城／渡辺純成／佐藤賢一)	170,000	1
10446	関流和算書大成 第三期 Y90000E	東アジア数学史研究会 編／ 岡本和夫 代表 (川原秀城／渡辺純成／佐藤賢一／安大玉)	90,000	0
10450	院政時代文章様式史論考 Y 15700 E	船城俊太郎 著	15,700	1
10451	漢文訓読と近代日本語の形成 Y 7500 E	齋藤文俊 著	7,500	1
21025	仏教文明の転回と表現文字・言語・造形と思想	新川登亀男 編	9,800	1
21026	仏教文明と世俗秩序国家・社会・聖地の形成	新川登亀男 編	9,800	6
21035	清代學術と言語学古音学の思想と系譜	木下鉄矢 著／池田秀三 序／川原秀城 後記	7,000	1
21040	深草元政『草山集』を読む近世初期学僧のことばと心	元政庵瑞光寺 川口智康 編	4,800	
21211	天野山金剛寺善本叢刊 第一期 Y32000E	後藤昭雄 監修／(第一巻)後藤昭雄・仁木夏実・中川真弓 編／ (第二巻)荒木浩・近本謙介 編	32,000	
21212	天野山金剛寺善本叢刊 第二期 Y37000E	後藤昭雄 監修 (第三巻)中原香苗・米田真理子 編／ (第四巻)箕浦尚美 編／(第五巻)赤尾栄慶・宇都宮啓吾・海野圭介 編	37,000	
22066	京都盆地の災害地名 Y3800E	綱本逸雄 著	3,800	2
27021	テキストとイメージを編む Y4800E	林洋子／クリストフ・マルケ 編	4,800	14
28006	日本語教育の語彙	城生伯太郎 著	1,800	0
28007	日本語教育の音声 Y 1800 E	城生伯太郎 著	1,800	2
28010	かかりむすび考	船城俊太郎 著	9,800	2
28011	日本語史の新視点と現代日本語 Y13000E	小林賢次・小林千草 編	13,000	2
28012	近世儒学韻学と唐音 Y9800E	湯沢質幸 著	9,800	5
28013	人名ではない人名録語源探索	小林祥次郎 著	1,800	9
28014	近代日本語と文語文 Y2500E	三浦勝也 著	2,500	2
28016	日本語の談話におけるポーズの研究 Y6800E	高村めぐみ 著	6,800	2
28017	字様の研究 Y9800E	西原一幸 著	9,800	1
28018	仏教からはみだした日常語 Y1800E	小林祥次郎 著	1,800	1
28019	西來寺蔵仮名書き法華経対照索引 Y35300E	萩原義雄 編	35,300	3
28022	日本古典漢語語彙集成 Y75000E	柏谷嘉弘・霧岡昭夫 編	75,000	1
28023	『色葉字類抄』の研究 Y15000E	藤本灯 著	15,000	6
28036	西來寺本 仮名書き法華経 原色影印 Y38000E	萩原義雄 編	38,000	
28037	今昔物語集の構文研究 Y10000E	高橋敬一 著	10,000	8
28039	シベ語のモダリティの研究 Y12000E	児倉徳和 著	12,000	0
28041	江戸・東京語の否定表現構造の研究 Y7800E	許哲 著	7,800	1
28042	国宝 称名寺聖教 湛露説草 Y16000E	納富常天 著	16,000	2
28044	秋萩帖の総合的研究 Y10000E	今野真二 編	10,000	1
28046	国宝 漢書楊雄伝 第五十七 Y35000E	京都国立博物館 原本所蔵・編／石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 解説	35,000	9

28048	日本書紀声点本の研究 Y14000E	鈴木豊 著	14,000	
28051	童謡・わらべうたの言葉とところ Y1800E	若井勲夫 著	1,800	4
28201	国宝 史記 夏本紀 秦本紀Y25000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	25,000	
28202	重文 ドチリーナ・キリシタン 天草版 Y14000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／豊島正之 解説	14,000	
28203	重文 楽善録 宋版・円爾旧蔵 Y70000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／會谷佳光 解題	70,000	
28204	サクラメント提要 長崎版 Y57000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／豊島正之 解説	57,000	
28205	国宝 毛詩／重文 礼記正義 Y26000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次・會谷佳光 解題	26,000	7
28206	梵語千字文／胎蔵界真言 Y25000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	25,000	
28207	国宝 古文尚書／重文 古文尚書 Y40000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	40,000	6
28208	聖教精華 FLOSCVLI Y52000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／豊島正之 解説	52,000	
28209	国宝春秋経伝集解／重文論語集解Y29000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	29,000	
28210	天正十八年本 節用集 Y38000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／豊島正之 解題	38,000	
28211	重文 論語集解 正和四年写 Y98000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	98,000	
28212	東洋文庫善本叢書12 国宝 文選集注 Y98000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／石塚晴通・小助川貞次 解題	98,000	
28221	東洋文庫善本叢書 第二期 1 ラカデ ィオ Y140000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／平川祐弘 解題	140,000	
28222	東洋文庫善本叢書 第二期 2 東方見聞録Y25000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／斯波義信 解題	25,000	
28223	重要文化財 ジョン・セーリス 『日本渡航記』 Y40000E	公益財団法人 東洋文庫 監修／平野健一郎 解題	40,000	
28501	北原保雄トークアンソロジー ことばの教育	北原保雄 著	2,400	1
28505	国宝 西大寺本 金光明最勝王經 Y100000E	総本山西大寺 編／佐伯俊源・月本雅幸・野尻忠 解題	100,000	9
28521	論究日本近代語＜第1集＞ Y15000E			0
29010	謡曲画誌影印・翻刻・訳註	小林保治・石黒吉次郎 編	15,000	3
29027	平安朝漢文学史論考 Y7000E	後藤昭雄 著	7,000	
29036	東アジアの漢籍遺産奈良を中心として	河野貴美子・王勇 編	8,000	3
29043	百物語全注釈 Y25000E	小川武彦 著	25,000	4
29047	源氏物語 榊原本 国文学研究資料館影印叢書4	国文学研究資料館 編／今西祐一郎 序文／池田和臣 解題	75,000	4
29060	鳳岡林先生全集 Y84000E	徳田武 編	84,000	2
29095	対釈新撰万葉集 Y23000E	半澤幹一・津田潔 著	23,000	2
29109	吉嗣拝山年譜考證	長尾直茂 著	10,000	5
29132	句題詩論考 Y9500E	佐藤道生 著	9,500	20
29138	『古今奇談 英草紙』と白話語彙 Y10000E	張海燕 著	10,000	1
29146	平安朝漢詩文の文体と語彙 Y8000E	後藤昭雄 著	8,000	10
29189	漱石文体見本帳 Y2800E	北川扶生子 著	2,800	2
29221	本朝文粹抄 三	後藤昭雄 著	2,800	
29222	本朝文粹抄 四	後藤昭雄 著	2,800	
29223	本朝文粹抄 五	後藤昭雄 著	2,800	5
29224	本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	3,200	2
32461	水門 第三十号言葉と歴史	水門の会 編	3,000	
32462	水門 第三十一号	水門の会 編	3,500	

お申し込みは _____

Web Site●<https://bensei.jp>

FAX●03-5215-9025

Mail●info@bensei.jp

勉誠社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-18-4

株式会社 勉誠社 TEL 03-5215-9021



BENSEISHA